

由布市の子どもら  
ゲームで減災学ぶ  
大分キワニスクラブ

子どものために奉仕活動



減災アクションカードゲームを体験する児童ら

2016年10月23日  
大分合同新 朝刊 13ページ掲載

をする大分キワニスクラブ（浜野臣子会長）は22日、由布市湯布院町の湯布院コミュニティセンターで、楽しみながら防災を学ぶイベント（大分合同新聞社後援）を開いた。

第一、二、三ゆふいん児童クラブを利用する由布院小学校の約70人が参加した。東北大学リーディング大学院生が考案した減災アクションカードゲームを、同大災害科学国際研究所講師の久利美和さんが紹介した。児童は「海の近くの学校で地震があった」などの問題を聞くと、危険から身を守る行動として適切と思う絵が描かれたカードを3秒以内に選択。なぜ選んだかを30秒で説明した。

6年生の山本音華さん12は「3秒でカードを選ぶのは難しかった。湯布院には海がないので、津波などに対応する問題は勉強になった」。この他、児童は工作を楽しんだ。

イベントは、世界のクラブが同時に活動するキワニスワンデーの一環。4月の熊本・大分地震で大きな被害を受けた同町で開催した。